

2020 年度水稲関係生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

2020 年度水稲関係生育調節剤試験成績検討会は、2020 年 12 月 18 日(金)に、Zoom を用いた Web 会議において開催された。この検討会には、試験場関係者 31 名、委託関係者 15 名ほか、計 66 名の参集を得て、健苗育成を目的としたもの 3 剤(適用性 14 点)、登熟向上を目的としたもの 3 剤(適

用性 15 点)、倒伏軽減を目的としたもの 1 剤(適用性 4 点)、その他 2 剤(適用性 15 点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

2020 年度水稲関係生育調節剤試験 判定一覧

< 健苗育成 >

No.	薬剤名 有効成分 [委託者]	ねらい	判定	判定内容
1	IK-160 水和 タラロマイセス フラパス SAY-Y-94-01株孢子:3×10 ⁸ cfu/g [エス・ディー・エス バイオテック]	育苗箱処理による根部の生育促進効果および移植後の活着促進効果の検討	継	継) 効果・葉害の確認
2	SB-9232 顆粒 水和 ダイムロン:20% [エス・ディー・エス バイオテック]	育苗箱処理による根部の生育促進効果	実・継	実) 根部の生育促進 ・播種時 ・200倍<500mL/箱> ・土壌灌注処理 継) 根部の生育促進効果の年次変動の確認
3	インプロチオラン 水和 インプロチオラン:40.0% [日本農薬]	①根の伸長及び発根促進効果の検討 ②苗の充実度の向上効果の検討 ③移植後の活着促進効果の検討	実・継 (従 来 通 り)	実) 根の伸長及び発根促進 ・緑化始期 ・50倍液<500mL/箱> ・土壌灌注処理 継) ・100倍処理での根の伸長及び発根促進効果の確認 ・苗の充実度向上効果の確認 ・移植後の活着促進効果の確認

< 登熟向上 >

No.	薬剤名 有効成分 [委託者]	ねらい	判定	判定内容
4	NGR-072 粒 イソプロチオラン:12.0% エチプロール:1.5% [日本農薬]	①高温登熟下における白未熟粒等発生軽減効果の検討 ②割れ籾発生軽減効果の検討	実・ 継 (従来通り)	実) 登熟向上 ・出穂前10~20日 ・4kg/10a ・湛水散布 継) ・高温登熟下での品質向上(白未熟粒等発生軽減)効果の確認 ・割れ籾発生軽減効果の確認
5	イソプロチオラン 粒 イソプロチオラン:12.0% [日本農薬]	3kg/10a処理での効果・薬害の検討(薬量拡大) ①登熟向上効果の検討 ②高温登熟下における白未熟粒等発生軽減効果の検討 ③割れ籾発生軽減効果の検討	実・ 継	実) 登熟向上、高温登熟下での未熟粒の発生軽減 ・出穂10~20日前 ・4kg/10a ・湛水散布 継) ・4kg/10a処理での効果の変動要因について ・3kg/10a処理での効果・薬害の確認
6	イソプロチオラン1kg 粒 イソプロチオラン:36.0% [日本農薬]	①高温登熟下における白未熟粒等発生軽減効果の検討 ②割れ籾発生軽減効果の検討	実・ 継 (従来通り)	実) 登熟向上 ・出穂10~20日前 ・1kg/10a ・湛水散布 継) ・高温登熟下での品質向上効果(白未熟粒等発生軽減)の確認 ・割れ籾発生軽減効果の確認

< 倒伏軽減 >

No.	薬剤名 有効成分 [委託者]	ねらい	判定	判定内容
7	SSDF-25 粒 ウニコナゾールP:0.0040% N-P-K=25-10-8	直播水稻での側条施用における倒伏軽減および薬害の検討	継	継) 効果・薬害の確認

< その他 >

No.	薬剤名 有効成分 [委託者]	ねらい	判定	判定内容
8 -1	SYJ-302 粉粒 過酸化カルシウム:19.0% [シンジェンタ ジャパン]	湛水直播水稻の土中(約1cm)播種での苗立ち安定効果の確認	実・ 継	実) 湛水直播の表面播種での苗立ちの安定 ・播種前 ・乾籾重量の0.5~等倍 ・乾燥種子に湿粉衣 継) 土中播種での効果の確認
8 -2	SYJ-302 粉粒 過酸化カルシウム:19.0% [シンジェンタ ジャパン]	湛水直播水稻の表面播種での苗立ち安定効果の確認		
9	タチガレン 液 ヒドロキシイソキサゾール:30.0% [三井化学アグロ]	生育ストレス条件下(除草剤起因等)における生育促進	継	継) 効果・薬害の確認